

オゾンリークモニタ ELM1 トラブルシューティング

トラブル内容	原因	確認・処置方法
オゾンがないのに指示値が0とならない	近くに熱源(冷却)等の部分があり機器が熱的に安定していない。 機器に風が吹き付けている。 直射日光や赤外線の影響を受けている。	機器を密閉された容器内に入れて表示値が安定するか確認してください。
指示値が安定しない	水銀ランプ点灯不良 モニタが熱的に不安定	<p>モニタをオゾンの無い雰囲気置き指示値を確認する。</p> <p>→安定している場合 実際のオゾン濃度の変動していると考えられます。オゾンガスは非常に不安定な性質のため指示値がふらつく場合があります。</p> <p>→不安定な場合 ランプが点灯不良となっている可能性があります。交換時期は過ぎていませんか。水銀ランプは、時間と共に光量が減少し点灯しづらくなります。新しいランプと交換してください。 (また点灯が不安定な場合、一旦電源プラグを抜き数分後に電源再投入すると安定化する場合があります。)</p> <p>冷暖房機器の近くや吹き出し口の近くでは熱変動のため、ランプの光量が変動し正確な指示が出ません。 機器の設置場所を風や熱源を避けて設置してください。</p>
エラーコードが表示される		取扱説明書「5. 2 モニタエラー」の項表4 エラー対照表を参照ください。